

病院のお仕事発見

「認定看護師
「感染管理」編

深い知識と技術を持つ
スペシャリスト「認定看護師」
を知っていますか？

医療機関などで、医師のサポートや患者さんのケアを行う看護師。その看護師の中でも、特定の看護分野において高い知識と熟練した技術を持っていると認められた看護師を「認定看護師」といいます。日本看護協会が認定する認定制度で、1995年に定められました。資格を得るためには、日本で認められた保健師、助産師、看護師のいずれかの免許を取得しており、3年以上の認定看護分野を含む、5年以上の実務経験が必須となります。昨年度から取得方法が一部変更になり、特定行為研修を組み込んでいる教育機関で1年以内に800時間

程度学び、修了することで資格を取得できるようになりました。

認定看護師の基本的な役割は、「実践・相談・指導」の3つのカテゴリーに分けられます。実践は、患者さんや家族に対して、その知識と技術で質の高い看護を実践すること。相談・指導は、実践を通して看護業務のアドバイザーや組織の管理、スタッフの教育などを行うことを指します。通常の看護師よりも特定の分野に特化した知識や経験を持ち合わせているため、患者さんは安心して治療に専念することができ、スタッフの意識改革、病院全体の医療の質の向上にも繋がっています。全19分野ある認定看護師は、それぞれが各分野のスペシャリストです。患者さんにとってはもちろん、医師や看護師にとっても、認定看護師は安心で頼りになる存在。高度化・専門化する現代医療の現場において、今この時も、そしてこれからも欠かすことのできない人材なのです。

柏崎総合医療センター

感染管理認定看護師 徳原 伸子

2005年柏崎総合医療センターに配属。2014年に日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程感染管理学科へ入学し、2015年感染管理認定看護師の資格を取得。2019年特定行為研修（「栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「感染に係る薬剤投与関連」の3区分）を受講。



「認定看護分野」は19分野あります

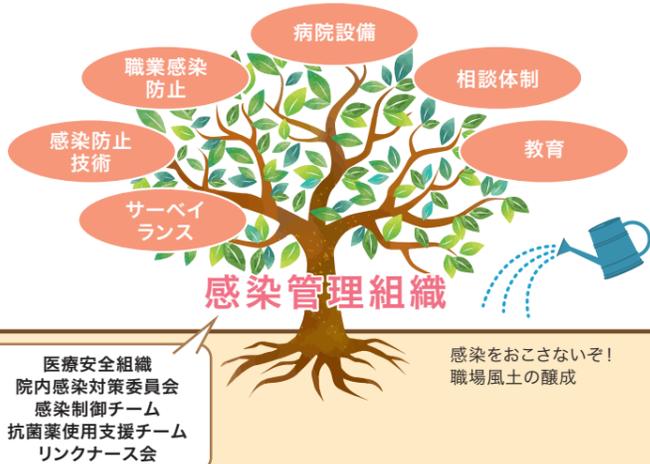
※2020年度開始の認定看護分野（2020年4月現在）

- 感染管理
- クリティカルケア
- 小児プライマリケア
- 生殖看護
- 認知症看護
- がん放射線療法看護
- 呼吸器疾患看護
- 新生児集中ケア
- 摂食嚥下障害看護
- 脳卒中看護
- がん薬物療法看護
- 在宅ケア
- 心不全看護
- 糖尿病看護
- 皮膚・排泄ケア
- 緩和ケア
- 手術看護
- 腎不全看護
- 乳がん看護

認定看護師のひとつ 感染管理認定看護師 の役割

感染管理は

全ての人を医療に関連した感染から守るための組織的な活動。この中心的な役割を担うのが、感染管理認定看護師です。



「病院において第一に求められることは病人に害を与えないことである」と、ナイチンゲールが言っているように、医療関連感染を予防することは病院にとって、とても大切なことです。



(1863年 フローレンス・ナイチンゲール)

最初は興味のなかった分野を、周囲の後押しと自身の性格から、天職としてスキルアップし続ける認定看護師もいます。徳原伸子感染管理認定看護師に話を聞きました。

— 新潟県内でも48名だけの感染管理認定看護師。なぜこの分野に興味を持ったのですか？

正直に話すと、最初は興味はありませんでした。看護師は、内科から外科、小児科…といろいろな科を経験することになるんです。もちろん、それは良いことなのですが、私自身がすごく心配性で、中途半端が苦手というところもあり、自分の軸になる専門性を身につけようと思ったんです。でも、感染管理認定看護師になるうと決めたのは、上司の強い勧めと、バックアップがあったからでした。

— 上司の方の勧めだったんですね。実際に感染管理認定看護師になられてどうですか？

本当に良かったです。感染発生率や手指衛生指数など、何でも数字で示せるのが私にはぴったりハマりました。何となくではな

く、これをやったら効果があったと明確にわかるんです。看護師も、きちんと数字で成果を表していけないといけない時代。病院のニーズと合致していたこと、何より私自身が気づかなかつた私の適性を見出してくれた上司には、感謝がありません。

— 今後について聞かせてください。

少しでも患者さんの負担を減らしたくて、特定行為の研修を受けました。それにより作成された指示書を基に、自分の判断で対処できるようになりました。例えば、今までひとつひとつ担当医師の指示や判断を仰いでいた部分を請け負うことで、患者さんへタイムリーにケアができ、治療自体がスムーズになります。

今後は、感染管理認定看護師の経験をいかし、看護師の特定行為を活用できるシステム作りもしていきたいです。

SDGsに関連する取り組みとして
ロゴマークを表記しております。

感染制御チームの活動



感染制御チームの定期ミーティング



ICTニュース・手指衛生新聞・手指衛生NEWSなど
様々な情報を発行配布



グラフで感染制御成果を発表



多職種で構成されている「感染制御チーム」

医師、感染管理認定看護師、看護師、薬剤師、臨床検査技師などで構成されている、柏崎総合医療センターの感染制御チーム。多職種の人材が一丸となり、ひとつの分野の目線だけでなく、いろいろな角度から感染対策に対する知恵を出し合い、医療関連感染を防ぐために日々活動しています。例えば、院内の環境ラウンドもそのひとつ。感染リスクがありそうな場所をチームで見回り、改善が必要な場所をピックアップ。それが、院内での感染を防ぐ一歩に繋がっています。また、抗菌薬の適正使用などで薬剤耐性菌を減らす活動も行っています。臨床検査技師からは菌の特徴を、薬剤師からは薬の効果を、看護師は患者さんの状態を、といったように各分野のプロフェッショナル同士が情報を交換することで、改善策を導き出すのです。「院内ラウンドやミーティングの他、病院スタッフ向けのICTニュースなども発行しています。チームでの働きを文字や表などにして病院スタッフに周知することで、情報と効果を共有しているんです(徳原伸子「感染管理認定看護師」)。さらに、介護施設でのセミナーや他病院での感染カンファレンスなど、地域の感染対策にも貢献。患者さん、病院、そして地域全体のことを考慮しながら、今日も感染の制御に注力しています。

※ ICT(Infection Control Team: 感染制御チーム)



柏崎総合医療センター 発熱外来について

**別棟&個室で安心して
受診できる発熱外来**

昨年11月から開設された「発熱外来棟」。新型コロナウイルスやインフルエンザなどの流行に備えたこの施設は、一般病棟とは分かれ、完全別棟での診察が可能となっております。待合室や診察室などで患者さん同士が接触することなく診察が受けられるのはもちろん、診察中以外の患者さんは車内で待機をお願いするという徹底ぶり。消毒や換気にも十分に配慮しており、院内感染の予防も万全です。



発熱外来受診方法(電話予約が必要)

1. お手元に、「診察券・保険証・携帯電話番号」をご用意ください。
2. 病院に電話をかけて、電話予約をします。
 予約電話番号 080-9506-0190(直通)
※15歳以下(中学3年生まで)の方は代表番号(0257-23-2165)にかけ、小児科にご連絡ください。
 受付時間 8:30~11:00(平日のみ、休診日除く)
 診察時間 9:00~13:00
3. 予約時間に「発熱外来棟専用駐車場」までお越しください。
 できる限り、自家用車でお越しください。
 お車の方は車内にてお待ちください。
 徒歩・公共交通機関の方は発熱外来棟内の待合室にてお待ちください。
4. 診察のご案内をします。
 診察券・保険証をご用意ください。
 病院から予約患者さんの携帯電話番号へ連絡をいたしますので、スタッフの指示に従ってください。

■ゾーニング



スタッフが防護具を着ける場所→診察エリア→脱ぐ場所が、一方通行となる設計です。

■処置室



処置が必要な場合も、患者さん同士の接触がないように工夫しています。

■診察室



3つの診察室を行き来できる専用通路をスタッフが移動して、診察します。

■待合室(クリーンパーテーション付)



お車でお待ちになれない場合も、仕切られた区域でお待ちいただけます。

看護部紹介の動画を公開中です!
<https://www.youtube.com/watch?v=UKgNaBgWOSw>

次号は診療放射線技師です!

看護部からバトンを受け取りました、診療放射線技師です。次号は放射線科の仕事についての話題をお届けします。どうぞご期待ください!



副院長 腎臓内科部長兼教育研修センター長 長谷川 伸

インタビュー 感染制御チームの一員として

連携を図りながら感染を制御していく
これがチームの流れでありスタイルです

感染の制御は病院全体の問題であり、専門や科の垣根を超えて必要なことです。前任からですが、他科の先生の協力を仰ぎながら感染制御を行うのがこの病院の流れになっています。もうひとつは、感染管理認定看護師の存在です。チームとして動ける体制が整い、専門とはかけ離れた立場であっても、チーム全体でコミュニケーションをとりながら、また他病院との連携を図りながら対策を行っています。

薬剤師 野島 幸樹



薬のスペシャリストとして
サポートできるように学び続けます

元々、感染分野が苦手だったこともあり、克服したいと考えていました。そんなときに当時の上司の勧めもあって、学び始めたのですが、どんどん面白くなっていった。微生物相手の学問が新鮮だったんです。感染制御チームは、多職種で構成されているからこそ、刺激がたくさんあります。薬という分野を通して、医師や患者さんを最大限にサポートしていけるようにこれからも学んでいきたいと考えています。

治験NEWS

治験に薬剤師も関わってます

薬剤師が治験事務局をしています。治験に参加される患者さんの人権等を守り、実施・継続することに問題はないか、治験薬(くすりの候補)を薬学的に評価しています。

実施中	[長岡中央総合病院]	[糸魚川総合病院]
	● 潰瘍性大腸炎 ● 市中肺炎	● クローン病 ● 癒着防止剤 ● 血友病

※該当する方や詳細を知りたい方は、主治医にお申し出ください。治験に参加するには細かい条件があります。ご希望いただいても、参加いただけない場合がございます。